

## 出前授業実施報告（案）

### 1.活動概要

実施日 : 平成 29 年 11 月 14 日（火） 10 : 45 ~ 15 : 00

出前先 : 堺市立南八下小学校

受講者 : 84 名（3、4 時限 43 名、5、6 時限 41 名※5 年生を対象）

講師 : 菅野耕三先生（大阪教育大学名誉教授）

授業題目 : 「流れる水のはたらき」

### 2.活動報告

堺市立南八下小学校より、水のはたらきについて知識を深める事を目的とした講演の依頼があり、「流れる水のはたらき」と題して、南八下小学校5年生84名を対象に出前授業を開催いたしました。

まず冒頭に、地盤工学会関西支部広報企画委員会の活動内容と各団体様などからの依頼を受けて、様々なテーマで出前授業を開催していることの説明をして頂きました。

本題の最初では、「ピサの斜塔」「JR大阪駅」「関西国際空港」などを具体的な例に挙げ、地盤沈下について分かり易く説明をして頂きました。特に、関西国際空港は地盤沈下により毎年2回ジャッキアップしていること、開港から約16m沈下していることを説明すると、驚きの声が上がっていました。続けて「阪神淡路大震災」「東日本大震災」での被災状況の説明と津波の破壊力、恐ろしさを説明して頂き、「水はあらゆるものを削る」「大きな石も動かす力がある」ということを認識するよう伝えられました。しかし私たちはこれらの「水のはたらき」があることで、災害の痕跡である観光地などを楽しむことができていることも伝えられました。実際に「水のはたらき」により作られた石、化石を手で触って、興味深く色々な質問をしていました。

最後に、38億年のいのちの繋がりを絶やさぬよう、いのちの尊さを子供たちに伝え、先生と生徒全員が握手とお礼の言葉を交わして授業が終わりました。

